T.sonic™ 530

ユーザーマニュアル

目次

はじめに

フラッシュ MP3 プレーヤーの新世代製品、トランセンドの **T.sonic™ 530** をご購入いただき誠にありがとうございます。USB フラッシュドライブに FM ラジオ、デジタルボイスレコーダー、歌詞表示機能、A-B リピート機能が搭載された高音質の MP3 プレーヤーです。コンピュータとのデータ交換や音楽ファイル転送は USB ポート経由で行います(Windows® 98SE はドライバが必要)。A-B リピート機能はトラックの指定セクションを繰り返し再生することができ、語学学習ツールとして大変便利です。また、デジタルボイスレコーダーでボイスメモを作成することが可能です。スタイリッシュなトランセンドの **T.sonic™ 530** はデジタルミュージックを楽しむのに最適です。

パッケージ内容

T.sonic™ 530 パッケージには以下が同梱されています。

- T.sonic™ 530
- イヤホン
- ドライバ CD
- USB アダプタ(ミニ USB - USB A-Type)
- クイック操作ガイド

特色

- MP3/WMA/WAV フォーマット対応の MP3 プレーヤー
- FM ラジオ(FM ラジオの録音が可能、20 局が設定可能)
- デジタルボイスレコーダー
- 歌詞表示機能(Winamp 等の歌詞入力に対応したソフトウェアが別途必用)
- トラックの指定セクションを繰り返し再生できる A-B リピート機能
- 楽曲/アーティスト名を 12 ヶ国語で表示対応
- データ転送/ストレージが可能な USB フラッシュドライブ
- クリアで鮮明な色彩、高アングルからの表示確認が可能な有機 EL ディスプレイ搭載
- ユーザーでカスタマイズ可能なイコライザーを含む 6 種類のイコライザーモード
- 充電式リチウムイオンバッテリーリチウムイオンバッテリーによる電源供給(フル充電で最大 15 時間の連続再生が可能)
- コンピュータとの接続とファイル転送を行うミニ USB ポート
- 特定時間(2/10/30 分)のアイドリングで起動するオートパワーオフ機能
- 数秒間のアイドリングで起動し、バッテリーを節約するオートスクリーンセーバー機能搭載

システム動作環境

USB ポート搭載のデスクトップまたはノートブック

以下のオペレーションシステムのうちいずれか

- Windows® 98SE (ドライバのインストールが必要)
- Windows® Me
- Windows® 2000
- Windows® XP
- Mac™ OS 10.2.8 以降(付属のリカバリープログラムは Windows 専用です。Mac™ OS では使用できません。)
- Linux™ Kernel 2.4 以降(付属のリカバリープログラムは Windows 専用です。Linux™では使用できません。)

ご使用する前に

以下の安全のガイドラインにしたがってご使用ください。

通常の使用

- **T.sonic™**のパッケージの開封は注意して行ってください。
- 水や他の液体が **T.sonic™**にかからないようにしてください。
- 湿った/濡れた布で本体ケースを拭かないでください。
- 下記の場所では **T.sonic™**を使用したり、保管したりしないでください。
    - 直射日光の当たる場所
    - エアコン、ヒーターや熱源をもつ機器の近く
    - 直射日光の当たる車の車内

データのバックアップ

- トランセンドはデータ損失や損傷による一切の責任を負いません。
  定期的にコンピュータやストレージメディアに **T.sonic™**のバックアップをとることをお勧めします。

警告**:** 聴覚障害のリスク

1. 習慣的にヘッドホンやイヤホンを使用し、80 デシベル以上で音楽を聴いていると大きな音でも音量が充分ではないという誤った感覚になることがあります。音量を徐々にコントロールし、耳へのダメージ、リスクを減らしてください。

2. 聴覚を守るために MP3 プレーヤーの音量を 80 デシベル以下にして、長時間のご使用は避けてください。頭痛、吐き気、聴覚障害などの症状が現れた場合はご使用をやめてください。

3. MP3 プレーヤーの音量は 100 デシベルまでに制限されています。

4. MP3 プレーヤーとイヤホンはウォークマン用のフランス規格に準拠しています。(1998 年 7 月 24 日規定)

5. ヘッドホンを使用する場合は、仕様が付属のイヤホンと同等であるかを確認してください。

注意事項

1. 電源をオンにする前にはロック スイッチが解除されているか確認してください。

2. Windows®の**“**クイックフォーマット**”**や**“**フルフォーマット**”**で **T.sonic™**をフォーマットしないでください。

3. **T.sonic™**の正しい取り外し方の手順に従って **T.sonic™**をコンピュータから取り外してください。

製品概要

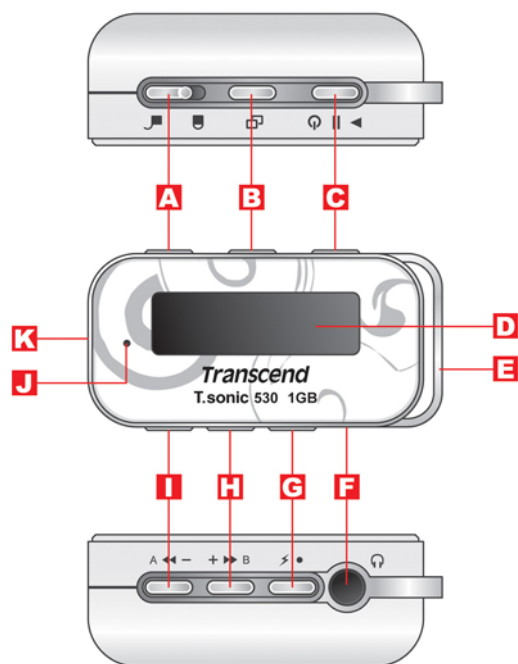



図 1. T.sonic 530

A		ロックスイッチ
B		メニューボタン
C		再生/一時停止/電源ボタン
D	有機 **EL** ディスプレイ	
E	ネックストラップホルダー	
F		イヤホンジャック
G		ホットキー/録音ボタン
H		音量を上げる/次へ-早送り/**B** ボタン
I		音量を下げる/前へ-巻戻し/**A** ボタン
J	マイク	
K	ミニ **USB** ポート	

有機 EL ディスプレイ表示

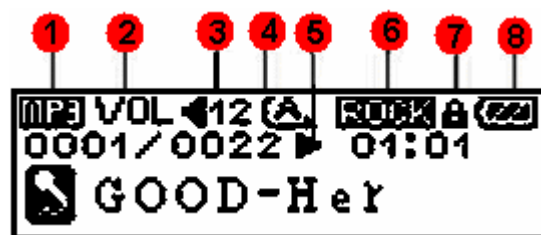



図 2. 有機 EL ディスプレイ

	アイコン	表示
1	プレイモード	**T.sonic™ 530** のプレイモード(音楽、ラジオ、録音)を表示します。
2	ホットキーモード	音量 、次へ-早送り、前へ-巻戻し、A-B リピート、周波数検索モードを表示します。
3	音量	音量を表示します。
4	**A-B** リピート**/**再生モード	A-B リピート/再生モード(ノーマル、1 曲リピート、全曲リピート、ランダム再生、フォルダリピート)を表示します。
5	プレイ状態	プレイ状態(再生、一時停止、次へ、前へ、早送り、巻戻し)を表示します。
6	**EQ** モード	イコライザーモード(ノーマル、ポップ、ロック、クラシック、ジャズ、ユーザーEQ)を表示します。
7	ロック	ロック機能の使用時に表示されます。
8	バッテリー残量	バッテリー残量を表示します。

基本操作

一番最初に**T.sonic™ 530**をご使用される前には、ミニUSB – USB A-Typeアダプタを使用してコンピュータに接続し、少なくとも12時間以上の充電を行ってください。

バッテリーの充電

- USB アダプタのミニ USB 端子を **T.sonic™ 530** のミニ USB コネクタに接続し、USB 端子をデスクトップ/ノートブックコンピュータの利用可能な USB ポートに接続します。**T.sonic™ 530** をコンピュータに接続すると、リチウムイオンバッテリーの充電が開始されます。

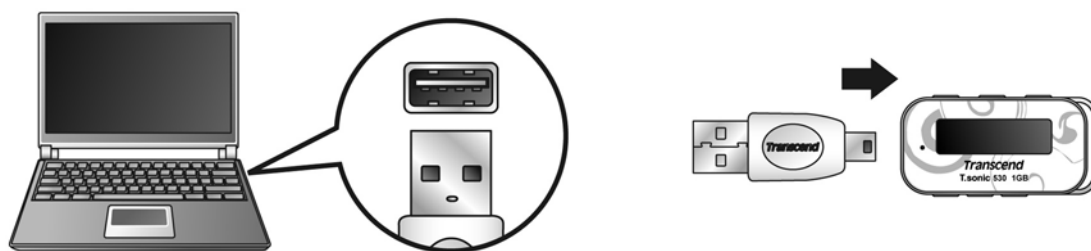



図 3. コンピュータへの接続

電源オン

- **再生/一時停止/電源**ボタン を長押しして電源を入れます。有機 EL ディスプレイにロゴが現れます。スタートアップ画面が消えると **T.sonic™ 530** が利用可能な状態になります。

T.sonic Family
Initializing.....
Transcend Transcend Transcend Transcend

T.sonic 530
VER1.0 FREE: 512MB

❖ 電源オンには数秒かかります。

❖ 電源を入れる際にロックアイコン が有機 EL ディスプレイに表示された場合、**T.sonic™ 530** のロックスイッチ が有効になっています。電源を入れる前には、ロックスイッチを解除してください。

電源オフ

- **再生/一時停止/電源**ボタン を長押しして電源を切ります。

❖ 電源オフには数秒かかります。

❖ 電源オフの状態は有機 EL ディスプレイに表示されます。

トラックの再生

- **再生/一時停止/電源**ボタン を押して、選択した MP3/WMA/WAV トラックを再生します。

トラックの一時停止

- トラックの再生中に**再生/一時停止/電源**ボタン を押して一時停止します。

次のトラックへ進む、前のトラックに戻る、早送り、巻戻し

- **ホットキー/録音**ボタン を押して、**次へ-前へ/早送り-巻戻し**アイコンを選択します。
- **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン を押して次のトラックへ進みます。
- **音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して前のトラックに戻ります。
- **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン を押し続けて早送りします。
- **音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押し続けて巻戻しします。

音量を上げる

- **ホットキー/録音**ボタン を押して、**音量**アイコンを選択します。
- **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン を数回押す、または長押しして適度と思われる音量になるように調節します。

音量を下げる

- **ホットキー/録音**ボタン を押して、**音量**アイコンを選択します。
- **音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を数回押す、または長押しして適度と思われる音量になるように調節します。

1 曲リピート

詳細は、後のページでご説明しております設定の“リピートモード”を参照ください。

全曲リピート

詳細は、後のページでご説明しております。設定の“リピートモード”を参照ください。

ランダム再生

詳細は、後のページでご説明しております。設定の“リピートモード”を参照ください。

フォルダ内のファイルリピート

詳細は、後のページでご説明しております。設定の“リピートモード”を参照ください。

トラック内の一部をリピート**(A-B** リピート**)**

- ホットキー**/**録音ボタン を押して、**A-B Repeat** アイコンを選択します。
- リピートしたい部分の始まりで音量を下げる**/**前へ**-**巻戻し**/A** ボタン を押します。
- リピートを終わらせたい部分で音量を上げる**/**次へ**-**早送り**/B** ボタン を押します。
- MP3/WMA/WAV トラックのこの機能で指定された部分が繰り返し再生されます。

ロック

ロックスイッチ を**“ON”**の位置に設定すると、すべてのボタン操作は無効になります。

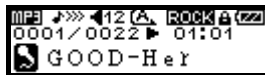
リセット

音量を下げる**/**前へ**-**巻戻し**/A** ボタン とホットキー**/**録音ボタン を同時に押すことで初期設定にリセットできます。

基本操作

音楽モード

MP3/WMA ファイルの再生

1. 再生/一時停止/電源ボタン を長押しして電源を入れます。初期状態では、画面は音楽モードになっています。

❖ また、メニューボタン を押してメインメニューを開き、音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン または音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押して音楽アイコン を選択し、再生/一時停止/電源ボタン を押すことでも音楽モードを開くことができます。

2. 利用可能な MP3/WMA ファイルがない場合、有機 EL ディスプレイに**“**No Files** (ファイルがありません)”**メッセージが表示されます。

*** No Files ***

3. 次へ-前へ/早送り-巻戻しアイコンを選択し、ホットキー/録音ボタン を押します。

4. 音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン または音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押してお好みの MP3/WMA ファイルを選択します。

5. 再生/一時停止/電源ボタン を押して、MP3/WMA ファイルを再生します。

❖ **T.sonic™ 530** は、32Kbps～320Kbps レートで圧縮された Mpeg I Layer 3 と WMA ファイルのみに対応しています。

ホットキー機能

音量を上げる

- ホットキー/録音ボタン を押して、音量アイコンを選択します。
- 音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン を数回押す、または長押しして適度と思われる音量になるように調節します。

音量を下げる

- ホットキー/録音ボタン を押して、音量アイコンを選択します。
- 音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を数回押す、または長押しして適度と思われる音量になるように調節します。

次のトラックへ進む、前のトラックに戻る、早送り、巻戻し

- ホットキー/録音ボタン を押して、次へ-前へ/早送り-巻戻しアイコンを選択します。
- 音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン を押して次のトラックへ進みます。
- 音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押して前のトラックに戻ります。
- 音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン を押し続けて早送りします。
- 音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押し続けて巻戻しします。

トラック内の一部をリピート(A-B リピート)

- ホットキー/録音ボタン を押して、**A-B Repeat** アイコンを選択します。
- リピートしたい部分の始まりで音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押します。
- リピートを終わらせたい部分で音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン を押します。
- MP3/WMA/WAV トラックのこの機能で指定された部分が繰り返し再生されます。

ナビゲーション機能

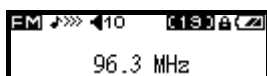
ナビゲーション機能によりトラック/ファイル/フォルダ間の移動が簡単に行えます。

1. 音楽モードで、メニューボタン を長押しして、ナビゲーション機能を開きます。
2. 音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン または音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押してお好みのフォルダまたは MP3/WMA ファイルを選択します。
3. 再生/一時停止/電源ボタン を押すと、選択した MP3/WMA ファイルを再生するか、選択したフォルダを開きます。
4. メニューボタン を押すと 1 階層上のフォルダに移動します。
5. メニューボタン を繰り返し押すと、ルートディレクトリー(最上階層のフォルダ)に移動します。
6. ルートディレクトリー(最上階層のフォルダ)でメニューボタン を押すと、ナビゲーション機能を終了します。

ラジオモード

FM モードを開く

1. イヤホンを **T.sonic™ 530** に取り付けます。
2. メニューボタン を押してメインメニューを開きます。
3. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押してラジオアイコン を選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押すとラジオモードが開きます。

4. FM ラジオの周波数が有機 EL ディスプレイに表示されます。

❖ 初めてご使用する場合、全チャンネルは一度オートスキャンされ、強い電波を受信した周波数を 20 チャンネル分設定します。これは**設定**メニューの FM リセットを使用した場合も機能します。

ラジオチャンネルの選択

ラジオモードではラジオチャンネルをマニュアルで検索することができます。

1. **ホットキー/録音**ボタン を押して、**周波数検索**アイコンを選択します。
2. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して、FM 周波数を調節し、お好みのチャンネルを選択します。(周波数は、各ボタンを一回押すごとに 0.1MHz 単位で調節されます。）或いは、**音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を長押しすることで、次のチャンネルをオートスキャンできます。

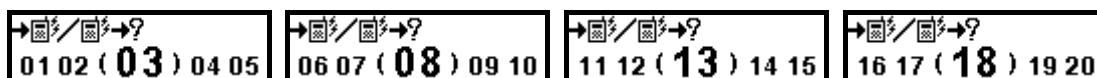
音量を上げる/下げる

1. **ホットキー/録音**ボタン を押して、**音量**アイコンを選択します。
2. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して、適度と思われる音量になるように調節します。

チャンネルの保存

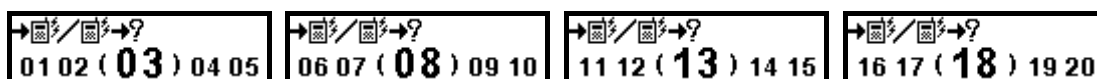
T.sonic™ 530のメモリにお好みの20チャンネル(CH01～CH20)が保存できます。

1. お好みのチャンネル(周波数)を選択します。

2. 再生/一時停止/電源ボタン を押すと 1 から 20 のチャンネル番号が表示されます。

3. 音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン または音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押して、保存したいチャンネル番号を選択します。

4. 再生/一時停止/電源ボタン を押して、選択したチャンネルを保存します。

保存したチャンネルの選択

1. ラジオモードで､再生/一時停止/電源ボタン を押すと 1 から 20 のチャンネル番号が表示されます。

2. 音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン または音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押して、お好みのチャンネル番号を選択します。

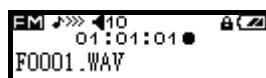
3. チャンネル番号を選択した約 5 秒後に、ラジオチャンネルが開始されます。

4. 画面はラジオモードに戻り、保存した FM 周波数を表示します。

FM チャンネルの録音

1. お好みのチャンネル(周波数)を選択します。

2. ホットキー/録音ボタン を約 2 秒間押すと録音が始まります。

3. 画面では録音している FM ラジオファイルが表示され、**[/Record.DIR/]**のフォルダの中に録音ファイルが作成されます。

4. 録音ファイル名は**[F0001.WAV]**から始まり、次のファイル名は**[F0002.WAV]**というように順に続きます。

5. 録音中に**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと録音を一時停止し、再度**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと録音を再開します。

6. 録音中に**ホットキー/録音**ボタン を長押しすると録音を停止し、画面は**ラジオ**モードに戻ります。

7. **ラジオ**モードでは録音されたファイルは**[/Record.DIR/]**のフォルダの中に作成されます。録音ファイル名は**[F0001.WAV]**から始まり、次のファイル名は**[F0002.WAV]**というように順に続きます。録音ファイルは**ナビゲーション**機能を使ってアクセスすることができます。

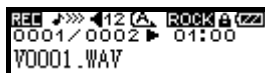
❖ 上表は **T.sonic™**に十分な空き容量とバッテリー残量がある場合に録音可能な最大時間を示しています。

録音モード

ボイスレコード

T.sonic™ 530 は、ボイスレコードが可能なマイクが内蔵されています。

1. ラジオモードを除くすべてのモードで、**ホットキー/録音**ボタン を長押しすると内蔵マイクを使用したボイスレコードが開始されます。
2. 画面では録音しているボイスファイルが表示され、**[/Record.DIR/]**のフォルダの中に録音ファイルが作成されます。

REC 12 ROCK
0001/0002 ▶ 01:00
V0001.WAV

3. マイクを使用した録音の場合、録音ファイル名は**[V0001.WAV]**から始まり、次のファイル名は**[V0002.WAV]**というように順に続きます。
4. 録音中に**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと録音を一時停止し、再度**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと録音を再開します。
5. 録音中に**ホットキー/録音**ボタン を長押しすると録音を停止し、画面は**録音**モードに戻ります。
6. 録音ファイルは**録音**モードから、または**ナビゲーション**機能を使ってアクセスすることができます。

ボイスレコード	サンプル周波数	チャンネル	**512MB**	**1GB**
	8KHz	1 (Mono)	32 hrs	64 hrs
	16KHz	1 (Mono)	16 hrs	32 hrs

❖ 上表は **T.sonic™**に十分な空き容量とバッテリー残量がある場合に録音可能な最大時間を示しています。

❖ 録音品質を向上させるには、**T.sonic™**のマイクをボイス録音の音源に近づけてください。

録音ファイルの再生

1. メニューボタン を押してメインメニューを開きます。
2. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して**録音**アイコン を選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと**録音**モードが開きます。
3. **ホットキー/録音**ボタン を押して、**次へ-前へ/早送り-巻戻し**アイコンを選択します。
4. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して、お好みの**[V000x.WAV]**ファイルを選択します。
5. **再生/一時停止/電源**ボタン を押すと録音ファイルが再生されます。

ホットキー機能

音量を上げる

- ホットキー/録音ボタン を押して、音量アイコンを選択します。
- 音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン を数回押す、または長押しして適度と思われる音量になるように調節します。

音量を下げる

- ホットキー/録音ボタン を押して、音量アイコンを選択します。
- 音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を数回押す、または長押しして適度と思われる音量になるように調節します。

次のトラックへ進む、前のトラックに戻る、早送り、巻戻し

- ホットキー/録音ボタン を押して、次へ-前へ/早送り-巻戻しアイコンを選択します。
- 音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン を押して次のトラックへ進みます。
- 音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押して前のトラックに戻ります。
- 音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン を押し続けて早送りします。
- 音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押し続けて巻戻しします。

トラック内の一部をリピート(A-B リピート)

- ホットキー/録音ボタン を押して、**A-B Repeat** アイコンを選択します。
- リピートしたい部分の始まりで音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押します。
- リピートを終わらせたい部分で音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン を押します。
- MP3/WMA/WAV トラックのこの機能で指定された部分が繰り返し再生されます。

ナビゲーション機能

ナビゲーション機能によりトラック/ファイル/フォルダ間の移動が簡単に行えます。

1. 録音モードで、メニューボタン を長押しして、ナビゲーション機能を開きます。

2. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して、**[/Record.DIR/]**フォルダを選択します。

3. **再生/一時停止/電源**ボタン を押して**[/Record.DIR/]**フォルダを開きます。(お好みの WAV ファイルがある場合、**再生/一時停止/電源**ボタン を押してファイルを再生します。)

4. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して、お好みの**[V000x.WAV]**または**[F000x.WAV]**ファイルを選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押してファイルを再生します。

5. メニューボタン を押すと 1 階層上のフォルダに移動します。

6. メニューボタン を繰り返し押すと、ルートディレクトリー(最上階層のフォルダ)に移動します。

7. ルートディレクトリー(最上階層のフォルダ)でメニューボタン を押すと、ナビゲーション機能を終了します。

ナビゲーション機能

ナビゲーション機能によりトラック/ファイル/フォルダ間の移動が簡単に行えます。

1. メニューボタン を押してメインメニューを開きます。
2. メニューボタン を押してナビゲーション機能を開きます。
3. 音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン または音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押してフォルダを選択し、再生/一時停止/電源ボタン を押すと選択したフォルダが開きます。
4. 音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン または音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押してファイルまたはサブフォルダを選択し、再生/一時停止/電源ボタン を押すと選択した MP3/WMA ファイルを再生するかサブフォルダを開きます。
5. メニューボタン を押すと 1 階層上のフォルダに移動します。
6. メニューボタン を繰り返し押すと、ルートディレクトリー(最上階層のフォルダ)に移動します。
7. ルートディレクトリー(最上階層のフォルダ)でメニューボタン を押すと、ナビゲーション機能を終了します。

設定

設定メニューを開く

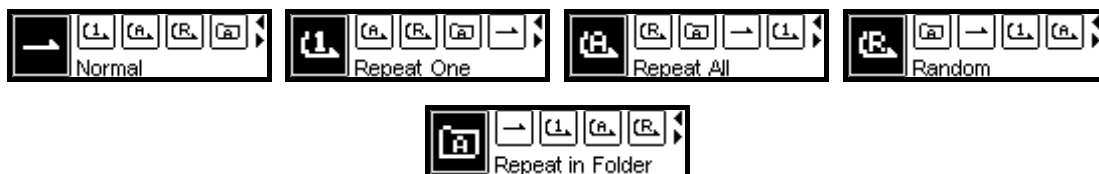
1. メニューボタン を押してメインメニューを開きます。
2. 音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン または音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押して設定アイコン を選択し、再生/一時停止/電源ボタン を押すと SETTINGS モードが開きます。

リピートモード

お好みのリピートモード(ノーマル再生、1曲リピート、全曲リピート、ランダム再生、フォルダ内のファイルリピート)を選択します。

1. 設定メニューで、音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン または音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押してリピートアイコン を選択し、再生/一時停止/電源ボタン を押すとリピートモードが開きます。

2. 音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン または音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押してリピートモードを選択し、再生/一時停止/電源ボタン を押して設定します。

設定

イコライザー(EQ)モード

お好みのEQモード(ノーマル、ポップ、ロック、クラシック、ジャズ、ユーザーEQ)を選択します。

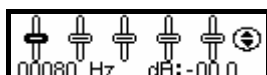
1. 設定メニューで、**音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して**イコライザー**アイコン を選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと**イコライザー**モードが開きます。

2. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して**イコライザー**モードを選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押して設定します。

ユーザーEQ

ユーザーEQ は5種類のイコライザーの設定をカスタマイズしてお好みのサウンドを楽しむことができます。

1. イコライザーモードで、**音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して**ユーザーEQ** アイコン を選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと**ユーザーEQ** モードが開きます。

2. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して調節するイコライザーの周波数帯(**80Hz - 250Hz - 1KHz - 4KHz - 12KHz**)を選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押します。**音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して、-14dBから+14dB間でイコライザーレベルを0.5dB単位で設定します。

3. **再生/一時停止/電源**ボタン を押して、**ユーザーEQ** モードに戻ります。

4. **再生/一時停止/電源**ボタン を押すと新しい**ユーザーEQ** の設定が保存され、**設定**メニューに戻ります。

設定

録音品質

録音品質(8000Hz、16000Hz)を設定します。WAVファイルを保存する際に高い品質ほどより多くのメモリ容量を必要とします。

1. 設定メニューで、**音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して**録音品質**アイコン を選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと**録音品質**モードが開きます。

2. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して録音品質設定(**8000Hz - 16000Hz**)を切り換えます。**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと、選択した録音品質を設定し、**設定**メニューに戻ります。

スクリーンセーバー

特定時間(5/10/30分)にボタン操作がない場合、有機ELディスプレイのバックライトをオフにするタイマーを設定します。

1. 設定メニューで、**音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して**スクリーンセーバー**アイコン を選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと**スクリーンセーバー**モードが開きます。

2. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して、スクリーンセーバーを起動するタイマーの時間(**Always Off [**常にオフ**] – 5 Sec [5** 秒**] – 10 Sec [10** 秒**] – 30 Sec [30** 秒**]**)を選択します。**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと、選択した時間を設定し、**設定**メニューに戻ります。

設定

パワーセーブ

特定時間(2/10/30 分)のアイドリング後に **T.sonic™ 530** の電源を自動的にオフにするタイマーを設定します。

1. 設定メニューで、**音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して**パワーセーブ**アイコン を選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと**パワーセーブ**モードが開きます。

2. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して、パワーセーブを起動するタイマーの時間(**DISABLE [無効] – 2 Min [2 分] – 10 Min [10 分] – 30 Min [30 分]**)を選択します。**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと、選択した時間を設定し、**設定**メニューに戻ります。

コントラスト

有機ELディスプレイのコントラストを設定します。高いコントラストを設定するとバッテリーの消費が速くなります。

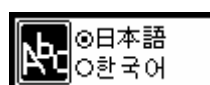
1. 設定メニューで、**音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して**コントラスト**アイコン を選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと**コントラスト**モードが開きます。

2. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して、コントラストレベルを調節します。**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと、調節したコントラストレベルを設定し、**設定**メニューに戻ります。

言語

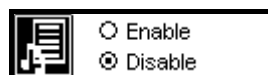
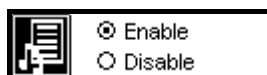
楽曲/アーティスト名を表示する言語を設定します。**T.sonic™ 530** は 12 ヶ国語に対応しています。

1. **設定**メニューで、**音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して**言語**アイコン を選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと**言語**モードが開きます。

2. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して、言語を選択します。**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと選択した言語を設定し、**設定**メニューに戻ります。

歌詞表示

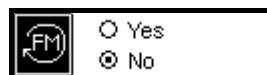
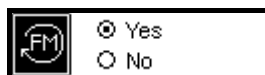
トラックの再生中に歌詞を有機 EL ディスプレイに表示させます。
(Winamp 等の歌詞入力に対応したソフトウェアが別途必用です。詳細は下記リンクを参照ください。
http://www.transcend.co.jp/support/faq/JP/FAQ_510_jp.htm)

1. **設定**メニューで、**音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して**歌詞表示**アイコン を選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと**歌詞表示**モードが開きます。

2. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して、**歌詞表示**の**オン/オフ**を選択します。**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと設定を保存し、**設定**メニューに戻ります。

FM リセット

保存されたラジオチャンネルをリセットします。次回、ラジオモードを開いたときに **T.sonic™ 530** は自動的に強い電波を受信した周波数を 20 チャンネル分設定します。

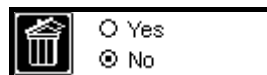
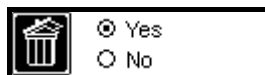
1. **設定**メニューで、**音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して **FM リセット**アイコン を選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと **FM リセット**モードが開きます。

2. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して、リセットの **Enable (有効) / Disable (無効)**を選択します。**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと選択項目を確定し、**設定**メニューに戻ります。

削除

ファイルを削除します。フォルダを削除することはできません。

1. **設定**メニューで、**音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して**削除**アイコン を選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと**削除**モードが開きます。

2. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押してフォルダを選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押してフォルダを開きます。**音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して、削除するファイルを選択します。

3. 削除するファイルにカーソルをあて、**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと”**YES (はい) /NO (いいえ)**”を選択する画面が現れます。

4. **音量を上げる/次へ-早送り/B** ボタン または**音量を下げる/前へ-巻戻し/A** ボタン を押して、**YES (はい) / NO (いいえ)**を選択します。**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと選択項目を確定し、**削除**モードに戻ります。

5. メニューボタン を押すと 1 階層上のフォルダに移動します。

6. メニューボタン を繰り返し押すと、ルートディレクトリー(最上階層のフォルダ)に移動し

ます。

7. ルートディレクトリー(最上階層のフォルダ)でメニューボタン を押すと、ナビゲーション機能を終了します。

情報

ファームウェアのバージョンや **T.sonic™ 530** の空きメモリ容量が有機 EL ディスプレイで確認できます。

1. 設定メニューで、音量を上げる/次へ-早送り/B ボタン または音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン を押して情報アイコン を選択し、再生/一時停止/電源ボタン を押すと情報画面が開きます。

設定

ドライバのインストール

Windows® 98/98SE へのドライバのインストール

1. ドライバ CD を CD-ROM (オートラン対応)に挿入します。**Win98 Driver Installation** ボタンをクリックします。

図 4. Windows 98/98SE へのドライバのインストール

2. **Next** ボタンをクリックして続けます。

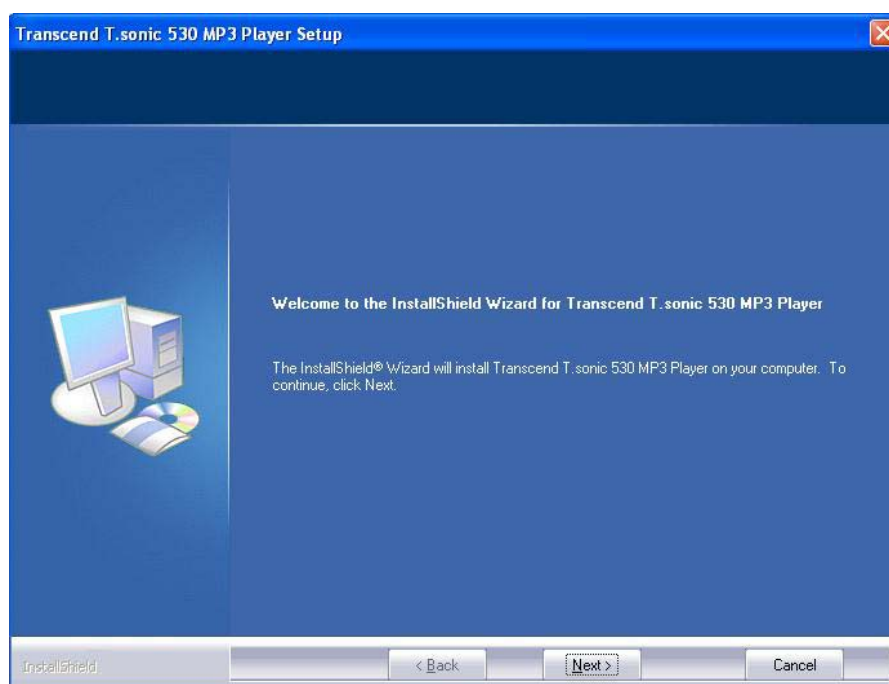



図 5. インストールシールドウィザード

3. インストールシールドウィザードが現れインストール手順をガイドします。

4. ドライバのインストール完了後、**T.sonic™ 530** を利用可能な USB ポートに挿します。**“New Hardware Found (新しいハードウェアが見つかりました)”**ダイアログボックスが表示されます。

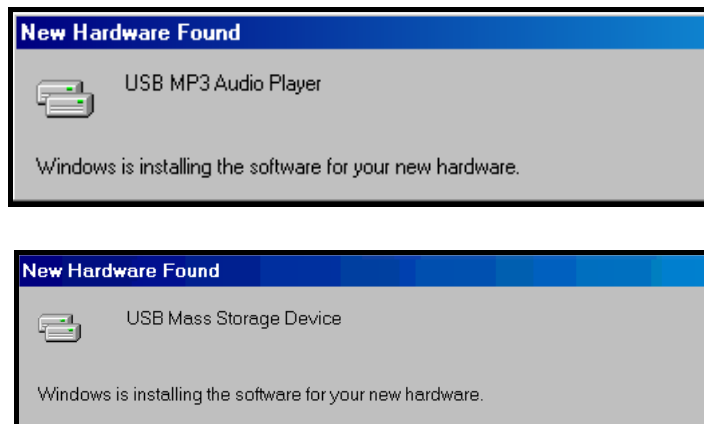



図 6. ダイアログボックス(Found New Hardware)

5. コンピュータが自動的に新しいデバイスを認識します。**マイコンピュータ**で、新たに割り当てられた**リムーバブルディスク**のドライブ番号が確認できます。

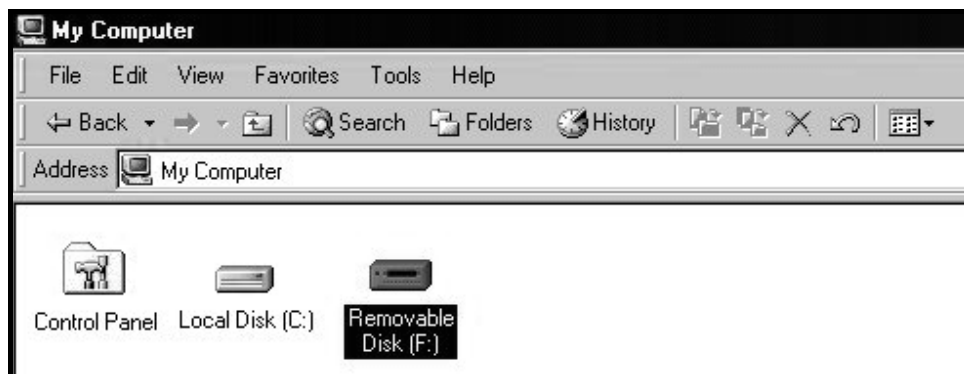



図 7. マイコンピュータ(例: Removable Disk [F:])

Windows® Me/2000/XP へのドライバのインストール

ドライバは必要ありません。これらの OS 上では **T.sonic™ 530** はデフォルトでサポートされています。利用可能な USB ポートに接続するだけで、OS 側でデバイスに必要なファイルをインストールします。**マイコンピュータ**で、新たに割り当てられた**リムーバブルディスク**のドライブ番号が確認できます。

Mac™ OS 10.2.8 以降へのドライバのインストール

ドライバは必要ありません。利用可能な USB ポートに接続するだけで、OS 側で自動認識します。(USB ドライバのアップデートが必要な場合があります。)

図 8. Mac へのドライバのインストール

Linux™ Kernel 2.4 以降へのドライバのインストール

ドライバは必要ありません。利用可能な USB ポートに **T.sonic™ 530** を接続します。

例: **1.** まず、**/mnt/T.sonic** のディレクトリーを作成します。

mkdir /mnt/T.sonic

2. **T.sonic™ 530** を取り付けます。

mount –a –t msdos /dev/sda1 /mnt/T.sonic

1. コンピュータに接続している時、**T.sonic™ 530**はファイル転送のみ可能です。この時、ファイルの再生や録音はできません。再生または録音する場合は、コンピュータから**T.sonic™ 530**を取り外してからご利用ください。
2. **Windows**で**T.sonic™ 530**をフォーマットしないでください。
3. ルートディレクトリーにある隠しファイル **“settings.530”** を削除しないでください。
4. **T.sonic™ 530**に作成可能なフォルダ数は**50**以内、**MP3/WMA/WAV**ファイル数は**350**以内に限られています。
5. **T.sonic™ 530**では、ファイル名は半角で**80**字以内に限られています。

コンピュータへの接続

1. USB アダプタのミニ USB 端子を **T.sonic™ 530** のミニ USB コネクタに接続し、USB 端子をデスクトップ/ノートブックコンピュータの利用可能な USB ポートに接続します。

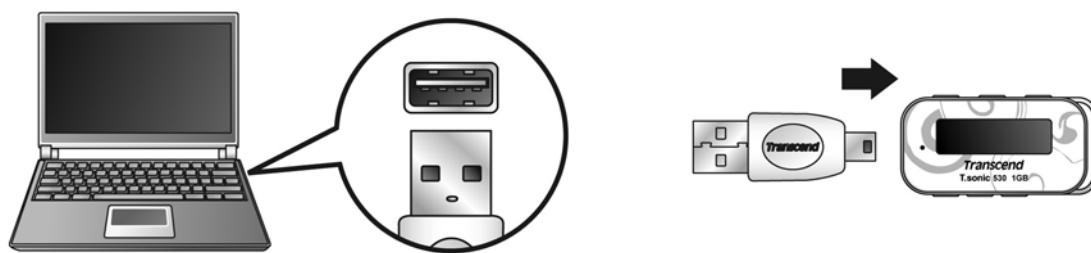



図 9. コンピュータへの接続

コンピュータへの接続

ファイルのダウンロードとアップロード

T.sonic™ 530 で音楽を楽しむには MP3/WMA ファイルをプレーヤーにダウンロードする必要があります。

1. USB アダプタのミニ USB 端子を **T.sonic™ 530** のミニ USB コネクタに接続し、USB 端子をデスクトップ/ノートブックコンピュータの利用可能な USB ポートに接続します。**T.sonic™ 530** をコンピュータに接続すると、リチウムイオンバッテリーの充電が開始され、ファイルの転送を行うことができます。

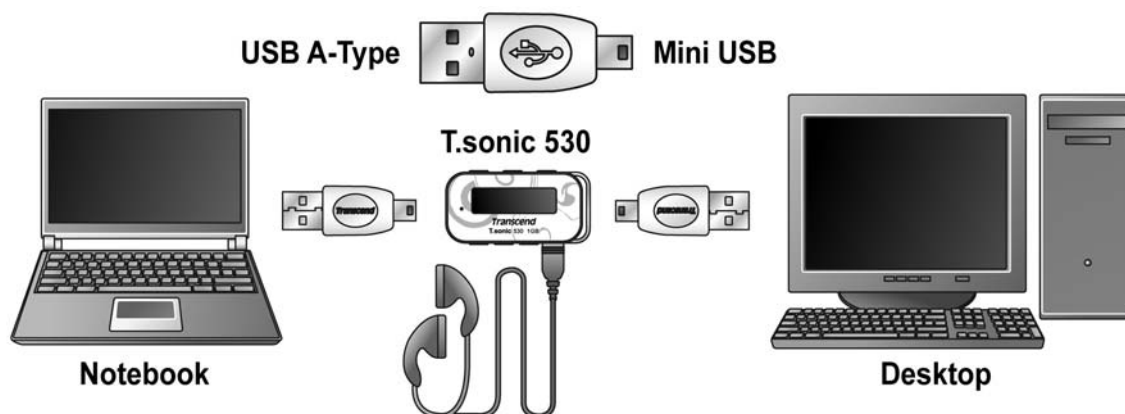



図 10. USB アダプタとコンピュータへの接続

2. コンピュータに接続すると、**T.sonic™ 530** のスクリーンに***"READY"***メッセージが表示され、ファイルの転送が可能な状態であることを示します。Windows®をご使用の場合、**T.sonic™ 530** に対応する新しく割り当てられたドライブ番号のリムーバブルディスクドライブがマイコンピュータで確認できます。

図 11. マイコンピュータ(例: Removable Disk [F:])

3. ドラッグ&ドロップで MP3/WMA/その他のファイルを **T.sonic™ 530** に対応するリムーバブルディスクに移動させます。このとき、プレーヤーのスクリーンにはファイルを **T.sonic™ 530** に転送中を示す**“*WRITE*”**メッセージが表示されます。ファイルの転送が完了するとプレーヤーのスクリーンは**“*READY*”**メッセージに戻ります。

4. コンピュータへのファイルのアップロードを行う場合、有機 EL ディスプレイには転送中を示す**“*READ*”**メッセージが表示されます。ファイルの転送が完了するとプレーヤーのスクリーンは**“*READY*”**メッセージに戻ります。

5. **T.sonic™ 530** をコンピュータから取り外す場合は、必ずコンピュータスクリーン下側の Windows® のツールバーにある**“ハードウェアの安全な取り外し”**アイコンをクリックし、正しい方法で取外しを行ってください。

図 12. アイコン(Safely Remove Hardware)

ファイルのダウンロードとアップロード

T.sonic™の正しい取り外し方

T.sonic™を取り外す前に、有機ELディスプレイが***READ/WRITE***の状態を表示していないことを確かめてください! この時に**T.sonic™**を外すとファイルや**T.sonic™**自体にダメージを与える要因になります。

Windows® 98/98SE から T.sonic™ 530 を取り外すには

データが転送されていないときに **T.sonic™ 530** をシステムより取り外してください。

Windows® Me/2000/XP から T.sonic™ 530 を取り外すには

1. システムトレイにある アイコンを選択してください。
2. **'Safely remove Hardware'** ハードウェアの安全な取り外しというポップアップメニューが現れます。クリックして続けます。

図 13. アイコン(Safely Remove Hardware)

3. **"The 'USB Mass Storage Device' device can now be safely removed from the system."**デバイスは安全にシステムから外すことができますというメッセージボックスが現れます。

図 14. メッセージボックス(Safe to Remove Hardware)

Mac™ OS 10.2.8 以降から T.sonic™ 530 を取り外すには

T.sonic™ 530 のディスクアイコンをドラッグ&ドロップでゴミ箱に入れてください。それから USB ポートから **T.sonic™ 530** を外してください。

Linux™ Kernel 2.4 以降から T.sonic™ 530 を取り外すには

umount /mnt/ T.sonic を実行し、USB ポートから **T.sonic™ 530** を外してください。

T.sonic™のリカバリー

T.sonic™ 530 が動作しなくなった場合、電源のオン/オフを何度か試してください。また、リセットで通常に戻ることもあります。それでも問題が解決しない場合、**リカバリープログラム**を使って初期設定に戻すことができます。**リカバリー**機能を使用する前には以下を参照ください。

 リカバリープログラムを実行すると、**T.sonic™ 530**のすべてのデータが消去されます。

- ❖ リカバリー機能は、Mac™や Linux™の OS には対応していません。
- ❖ リカバリー機能を利用するためには、Windows® OS に**管理者**としてログインしている必要があります。
- ❖ リカバリープログラムを実行すると、**T.sonic™ 530** のすべてのデータが消去されます。
- ❖ **T.sonic™ 530** のフラッシュメモリチップに不良ブロックがある場合、**リカバリープログラム**を実行後には **T.sonic™ 530** のメモリ容量が元のメモリ容量よりも小さくなります。

リカバリープログラムのインストール

1. ドライバ CD を CD-ROM (オートラン対応)に挿入します。**Recovery** ボタンをクリックします。

図 15. リカバリープログラム

2. インストールシールドウィザードが現れます。**Next** ボタンをクリックして続けます。インストールシールドウィザードが**リカバリープログラム**のインストール手順をガイドします。

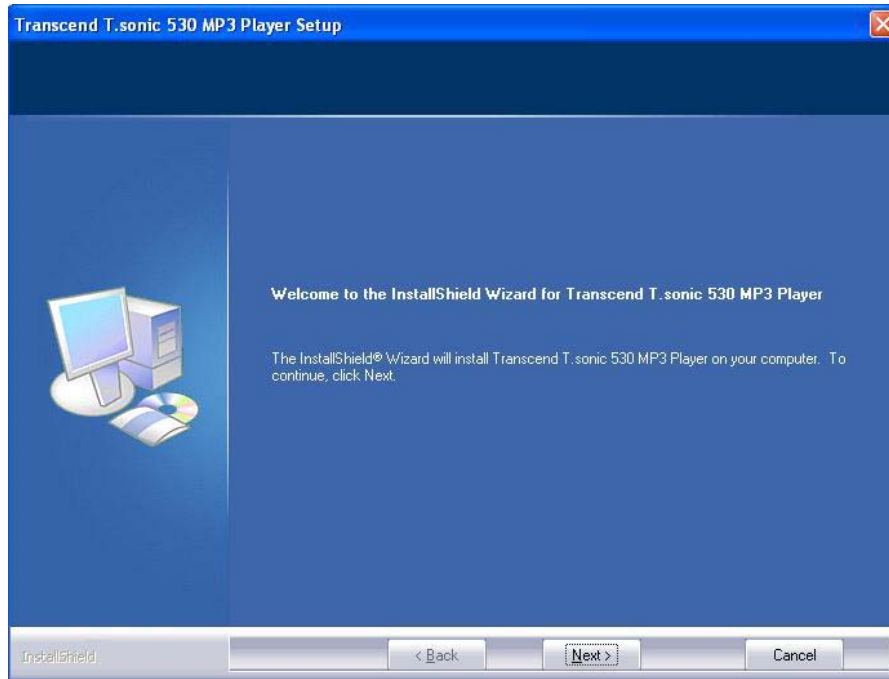



図 16. リカバリープログラムのインストールシールドウィザード

3. リカバリープログラムはプログラム **> Transcend T.sonic 530 >> T.sonic 530 Firmware Update** から起動させます。

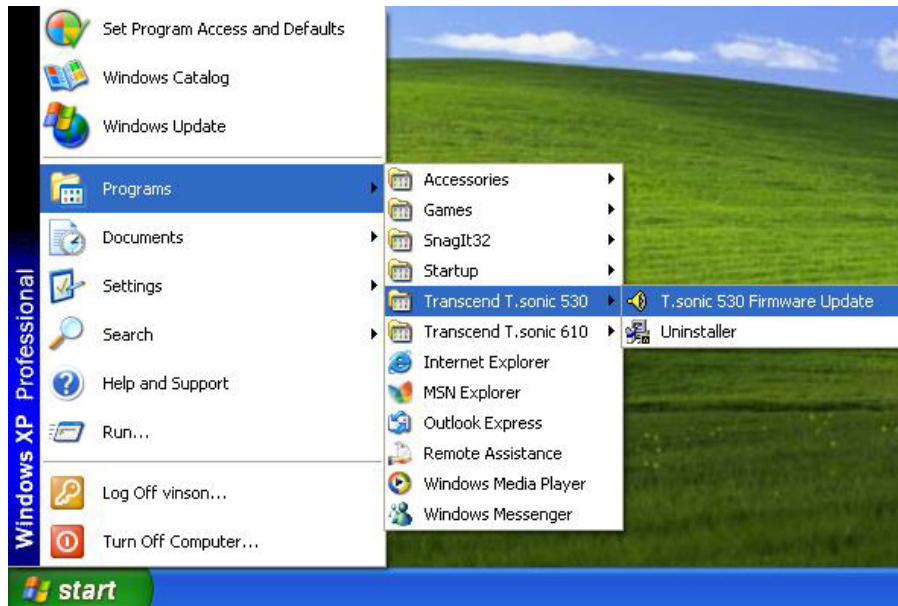



図 17. ファームウェアアップデートプログラム

Windows® 98/98SE での T.sonic™ 530 のリカバリー

T.sonic™をデスクトップ/ノートブックコンピュータの利用可能な USB ポートに接続します。

1. タスクバーにある **Start** ボタンをからプログラム **> Transcend T.sonic 530 >> T.sonic 530 Firmware Update** を選択して **T.sonic 530 Firmware Update** プログラムを起動させます。

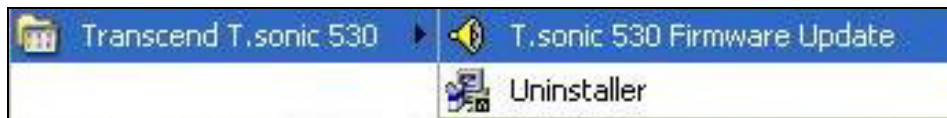



図 18. ファームウェアアップデートプログラム

❖ Windows® 98/98SE ドライバをまだインストールしていない場合は、始めにインストールしてください。

2. **T.sonic 530 Firmware Update** ウィンドウが現れます。

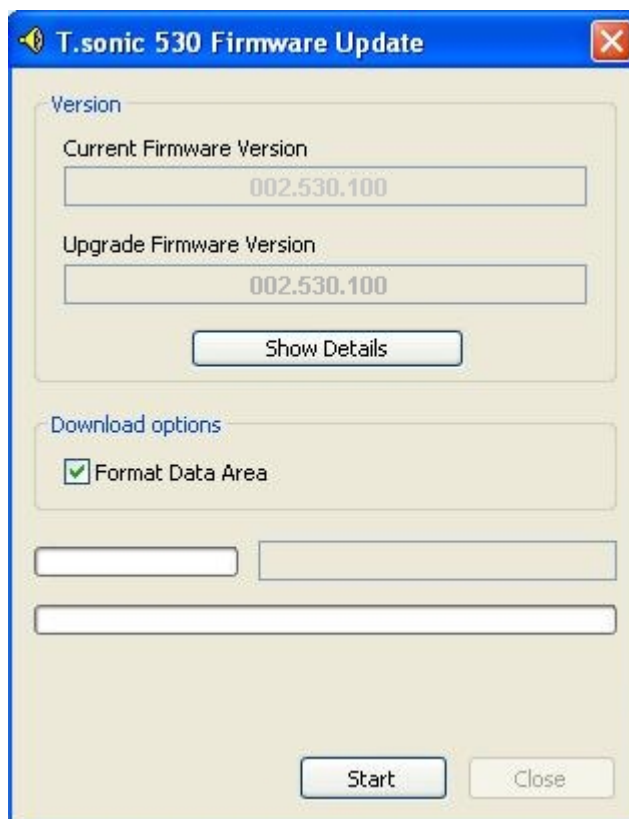



図 19. T.sonic 530 Firmware Update ウィンドウ

3. **Format Data Area** のチェックボックスにチェックをします。**Option** メッセージボックスが現れます。**Yes** をクリックして続けてください。

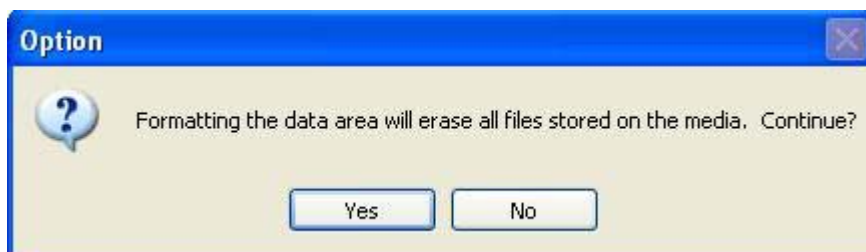
このオプションを選択すると**T.sonic™ 530**にあるすべてのデータは消去されます。

T.sonic™リカバリー

図 20. ファームウェアアップデートの確認

4. **Start** ボタンをクリックするとファームウェアのアップデートが始まります。

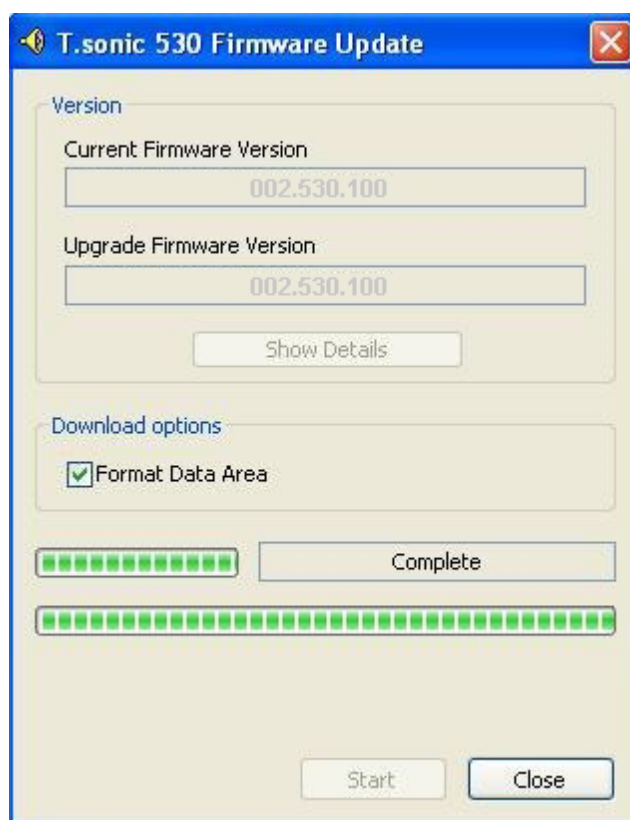



図 21. ファームウェアアップデートの実行

5. **Firmware Update Completed** メッセージが現れます。**Close** をクリックしてウィンドウを閉じます。**T.sonic™**は初期状態に戻ります。

Windows® Me/2000/XP での T.sonic™ 530 のリカバリー

T.sonic™をデスクトップ/ノートブックコンピュータの利用可能な USB ポートに接続します。

1. **“Found New Hardware (**新しいハードウェアがみつかりました**)”**というメッセージボックスが表示されます。

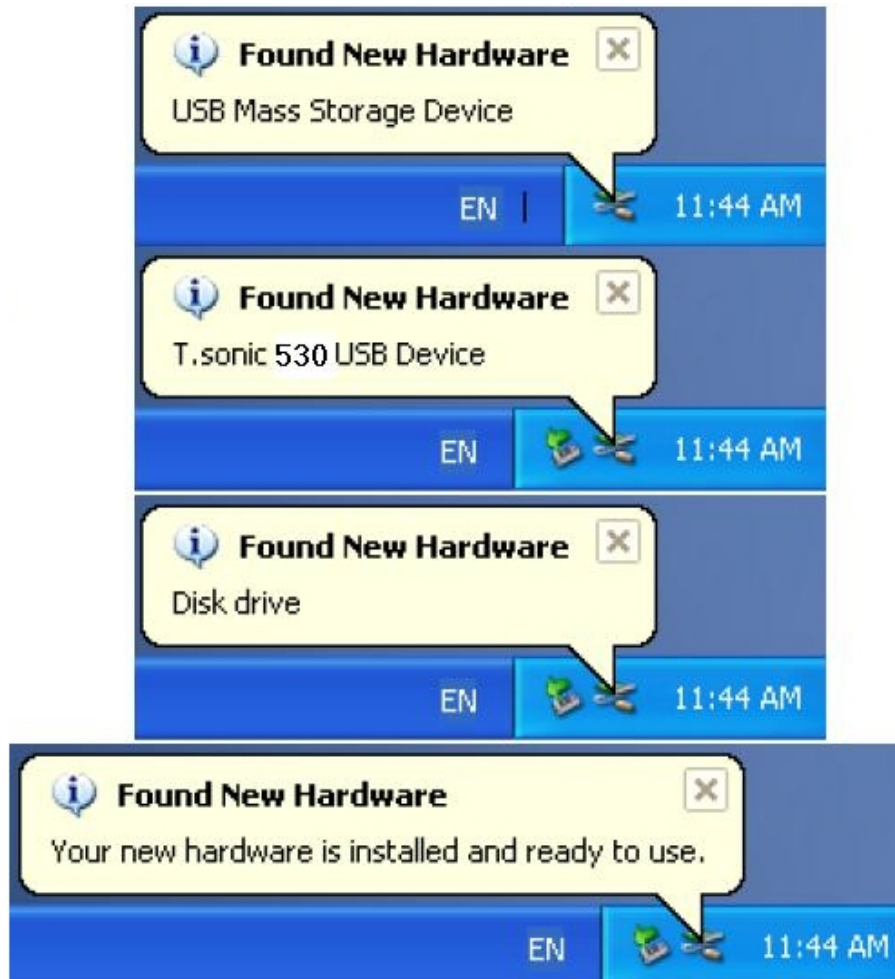



図 22. メッセージボックス(Found New Hardware)

2. タスクバーにある **start** ボタンをからプログラム> **Transcend T.sonic 530 > T.sonic 530 Firmware Update** を選択して **T.sonic 530 Firmware Update** プログラムを起動させせます。

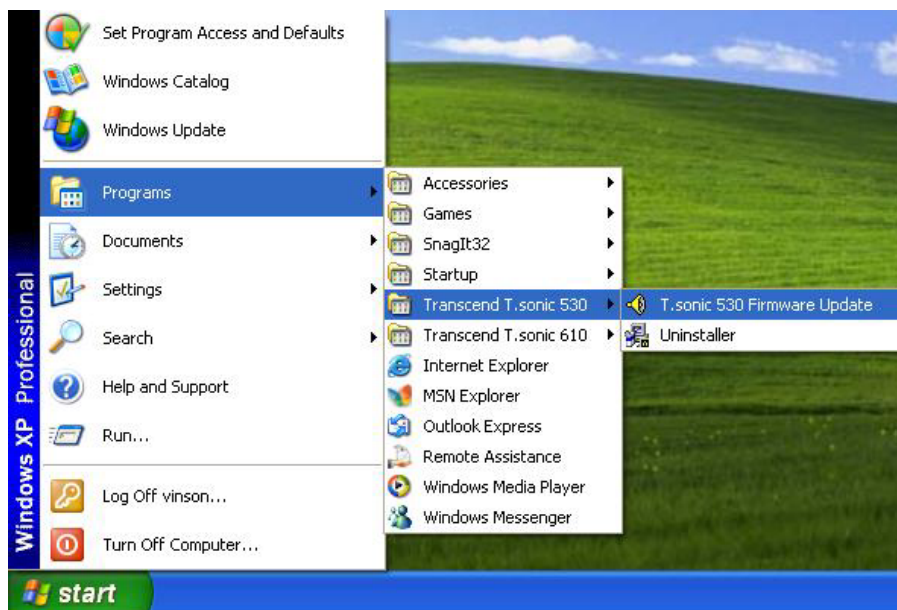



図 23. ファームウェアアップデートプログラム

3. **T.sonic™ 530 Firmware Update** ウィンドウが現れます。

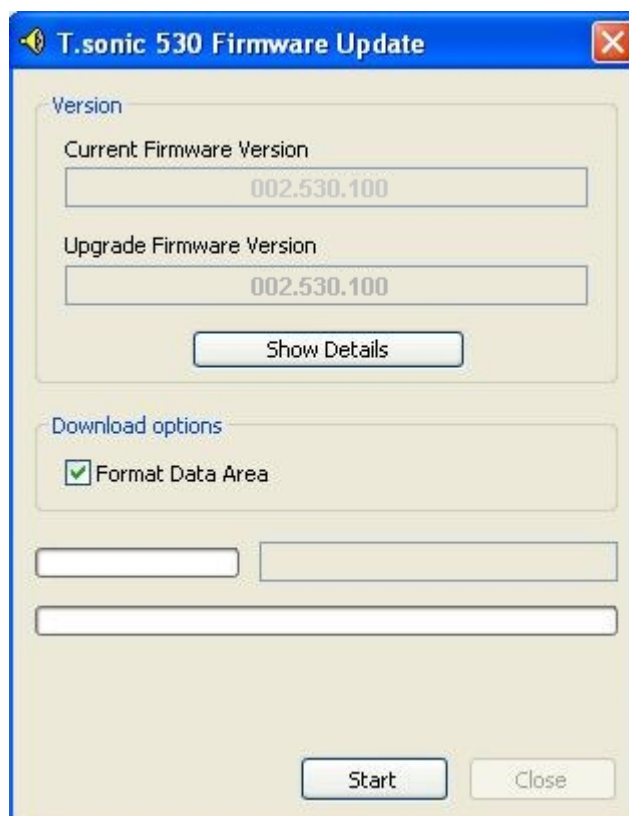



図 24. T.sonic 530 Firmware Update ウィンドウ

T.sonic™リカバリー

4. **Format Data Area** のチェックボックスにチェックをします。**Option** メッセージボックスが現れます。**Yes** をクリックして続けてください。

このオプションを選択すると**T.sonic™ 530**にあるすべてのデータは消去されます。

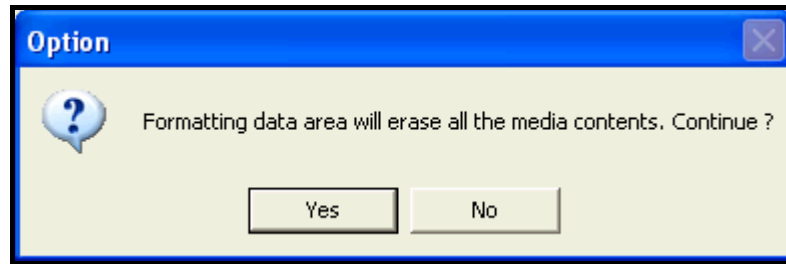



図 25. ファームウェアアップデートの確認

5. **Start** ボタンをクリックするとファームウェアのアップデートが始まります。

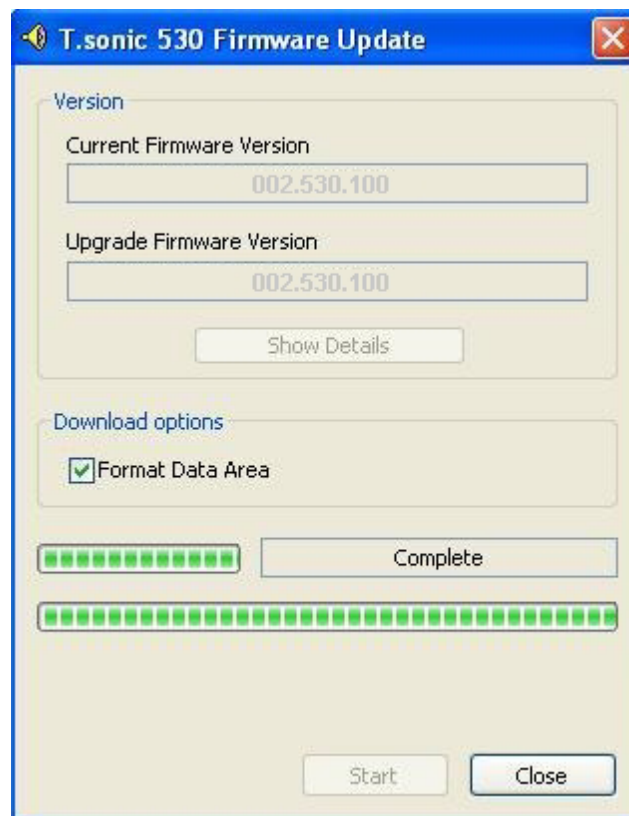



図 26. ファームウェアアップデートの実行

6. **Firmware Update Completed** メッセージが現れます。**Close** をクリックしてウィンドウを閉じます。**T.sonic™**は初期状態に戻ります。

トラブルシューティング

もし故障が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目をチェックしてください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店、サービスセンター又は現地のトランセンドオフィスまでお問い合わせください。ウェブサイトでも FAQ とサポート情報を公開しております。

Windows®でドライバ CD がオートランになりません

コントロールパネルにあるデバイスマネージャーをクリックしてCD-ROM ドライブのオートラン機能を有効にしてください。他の方法としてはドライバ CD から **T.sonic.EXE** をマニュアルで実行することができます。

OS が T.sonic™を認識しません

下記の項目をチェックしてください。

1. **T.sonic™**が正しく USB ポートに接続されていますか。接続されていない場合は、一度取り外してから再度接続してください。
2. **T.sonic™**が Mac™キーボードに接続されていませんか。接続されている場合は、キーボードから取り外して Mac™デスクトップの USB ポートに接続してください。
3. その USB ポートは利用可能ですか。利用可能でない場合は、ご使用のコンピュータ(又はマザーボード)のマニュアルを参照して利用可能な状態にしてください。
4. 必要なドライバがインストールされていますか。ご使用のコンピュータが Windows® 98/98SE の場合は、ドライバ CD からドライバをインストールしなければなりません。**T.sonic™**をご使用になる前に"**Windows® 98/98SE へのドライバのインストール**"を参照してドライバのインストールを完了してください。また、Windows® Me/2000/XP、Mac™ OS 10.2.8 以降、Linux™ kernel 2.4 以降にはドライバは必要ありません。

電源が入りません

下記の項目をチェックしてください。

1. **T.sonic™**がコンピュータに接続中は電源が入りません。接続されている場合は、取り外してください。
2. ロックスイッチが有効になってはいませんか? その場合は、解除してください。
3. **T.sonic™**に十分なバッテリーが残っていますか? バッテリーがない場合は、充電してください。

T.sonic™へ MP3/WMA/WAV ファイルをダウンロードできません

ドライバをアンインストールしてから再インストールしてください。それでも直らない場合は、**T.sonic™**のリカバリーを参照して **T.sonic™**をリセットし、初期状態に戻してください。

ボタンを押しても動きません

ロックスイッチが有効になってはいませんか? その場合は、解除してください。

トラックを再生して聴けません

1. **T.sonic™**に音楽ファイルがありますか。ない場合は、まず始めにコンピュータまたはインターネットから音楽ファイルをダウンロードする必要があります。(32Kbps～320Kbps のレートで圧縮された Mpeg I レイヤー3 と WMA ファイルのみに対応しています。)
2. イヤホンは正しくイヤホンジャックに接続されていますか。接続し直して確認ください。
3. 音量は適当ですか。そうでない場合は、音量を調節してください。

トラック名がディスプレイに正しく表示されません

1. **T.sonic™**では英語が初期言語に設定されています。始めに言語設定を行ってください。
2. ID3 タグの情報が優先的にディスプレイに表示されます。ID3 タグは Windows Media Player や Winamp 等を使用して修正できます。
3. ID3 タグが空の場合、ファイル名がディスプレイに表示されます。

録音モードが開きません

録音ファイルを保護するために、**T.sonic™**は 2 つのメカニズムを備えています。

1. バッテリー残量が 10%以下になると、録音モードを開くことはできません。
2. 録音中にバッテリー残量が **10%**以下になると **T.sonic™**は自動的に録音を保存します。

トラックの再生サウンドが断続的にとぎれます

イヤホンをジャックに接続し直して、正しく接続されているか確認してください。

T.sonic™が自動的にオフします

T.sonic™にはパワーセーブ機能があります。**T.sonic™**が、2 分、10 分または 30 分間アイドリング状態(音楽再生やラジオを除く)にあるとパワーセーブ機能が起動し、自動的に電源がオフになります。設定の"パワーセーブ"の項目を参照して、設定を変更してください。

T.sonic™が正常に動きません

T.sonic™が動かなくなった場合は、音量を下げる/前へ-巻戻し/A ボタン とホットキー/録音ボタン を同時に押して、本体をリセットしてください。

T.sonic™へコピーしたファイルが見つけられません

再度ファイルをコピーし、コピーが完了後に、"**T.sonic™の正しい取り外し方**"を参照して **T.sonic™**を取り外してください。

削除したはずのファイルがまだあります

再度ファイルを削除し、削除が完了後に、"**T.sonic™の正しい取り外し方**"を参照して **T.sonic™**を取り外してください。

トラブルシューティング

T.sonic™が OS から自動的に外されます

この問題は、**T.sonic™**がコンピュータの USB ポートに接続されているときに**再生/一時停止/電源**ボタン を押した場合に起こります。**T.sonic™**を USB ポートから外し、接続し直してください。

Windows®でフォーマットした後 T.sonic™が使用できません

Windows®の"クイックフォーマット"や"フルフォーマット"オプションを使ってフォーマットをすると**T.sonic™**のデフォルトフォーマットを壊してしまいます。デフォルトフォーマットを取り戻すには以下のリンクを参照し、**T.sonic™**のファームウェアをダウンロードし、アップデートしてください。

http://www.transcendusa.com/

トラブルシューティング

仕様

• サイズ**(L x W x H):**	51 mm × 26 mm × 19 mm
• 重量**:**	22g
• データ保持期間**:**	最大 10 年
• 消去サイクル**:**	100,000 回以上
• **SN** 比**:**	90dB 以上
• 再生可能時間**:**	最大 15 時間(フル充電した場合)
• 音楽フォーマット**:**	MP3、WMA (DRM 非対応)
• 録音フォーマット**:**	ADPCM (WAV)
• 圧縮率**:**	32Kbps～320Kbps
• 認証**:**	CE、FCC、BSMI

ご注文情報

デバイス名	*容量*	*製品型番*
T.sonic™ 530 MP3 プレーヤー	512MB	TS512MMP530
T.sonic™ 530 MP3 プレーヤー	1GB	TS1GMP530

保証規定

“枠を越えて、更に上に”はトランセンドのカスタマーサービスにおける姿勢です。私たちは常に自身を業界基準よりも高い位置に置くように心がけています。それはお客様の満足を得られるための私たちの義務だと思っております。

トランセンドの製品は全て保証付きで、不良品のないようにテストを受け、公示している仕様に準拠していることを確認しています。トランセンドの **T.sonic™**が、推奨された環境において通常の使用をしている間に、製造や部品の不備のせいで不具合が起きた場合、保証期間内であれば修理もしくは同等の製品との交換を行います。ここでは保証の条件と制限事項について述べます。

保証期間: トランセンドの **T.sonic™**の保証は、購入日から 2 年間(バッテリーは 6 ヶ月)有効です。保証サービスを受けるには、購入日を証明するものが必要となります。トランセンドは製品を検査し、修理可能であるか、交換が適当であるかどうかを査定します。修理か交換の決定はトランセンドにお任せください。トランセンドでは該当製品と機能的に同等である製品と交換する権利も保有させていただきます。

制限事項: 本保証は、事故、不正扱い、酷使、不正な取付け、改造、天災、間違った使用、電気的問題などによる不良には適応いたしません。また、製品ケースの取り外し、品質シールや製品シリアル番号を含めた製品表面の物理的ダメージ、誤用、改変が認められる製品の保証はいたしません。トランセンドは、ハードディスクやフラッシュメモリデバイスの故障によるいかなるデータの損失について復旧の責任を負いません。トランセンドの **T.sonic™**は業界基準に沿っていることが確認されたデバイスと一緒にご使用してください。トランセンドはサードパーティのデバイスとの併用で生じたトランセンド製品不具合によるダメージについての責任は負わないこととします。また、後発的、間接的又は偶発的なダメージや、負債、投資の損失、データの損失によるビジネス弊害などについても一切の責任を負わないこととします。また、サードパーティの装置のダメージや故障については、その可能性を認知していたとしても責任を負いません。この制限は、適用法令外やその法令が強制されない範囲では適用されません。

おねがい

- 故障品の修理/交換の受け付けは弊社に送付いただくことで受け付けております。返送時は弊社負担ですが送られるときは送料をご負担ください。
- 本製品は将来改良の為予告なく変更する場合があります。
- 本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターにお問合せください。

保証サービスを円滑に行うために、購入日から **30** 日以内に製品登録を行ってください。

http://www.transcendusa.com/registration

Transcend Information, Inc.

www.transcendusa.com

*The Transcend logo is a registered trademark of Transcend Information, Inc.

*All logos and marks are trademarks of their respective companies.

アイコン

	音楽: MP3/WMA 音楽ファイルにアクセスします。
	ラジオ: FM ラジオを聴いたり、ラジオチャンネルの選択、保存、録音ができます。
	録音: ボイスメモが作成できます。
	設定: T.sonic™の設定をカスタマイズできます。
	リピート: リピートモードを設定します。
	イコライザー: イコライザーモードを設定します。
	録音品質: 内蔵マイクを使用した場合の録音品質レベルを設定します。
	スクリーンセーバー: スクリーンセーバーを設定します。
	パワーセーブ: パワーセーブ機能のタイマーを設定します。
	コントラスト: 有機 EL ディスプレイの明るさを設定します。
	言語: 表示言語を設定します。(初期設定: 英語)
	歌詞表示: トラック再生中の歌詞表示のオン/オフを設定します。
	FM リセット: 保存したラジオチャンネルをリセットします。
	削除: 削除したいファイルにアクセスします。
	情報: ファームウェアのバージョンや空きメモリ容量の確認ができます。